



(撮影：中澤純一)



江州ソーミル、熊本ヤマ、死ぬよりましかなヘレン獲り

この俗言は、第二次世界大戦前のカナダにおける日本人の就業構造を表現している。

滋賀県（近江）出身者は製材所（ソーミル）に勤めることが多く、そこで運搬される木材を提供するために山奥で伐木業や鋳業に従事するのは熊本県出身者が多かった。慣れない機械操作、倒木や落盤などによって命を落とすかもしれないなら、ニシン（ヘリング）漁やサケ漁に就く方がよい、と和歌山県出身者たちが揶揄したものを俗言として表した。

*俗言…世間で日常的に使う言葉のこと。卑俗な言葉のこと。

【引用文献】

河原典史（2017）「43 初期の日本人移民－江州ソーミル、熊本ヤマ、死ぬよりましかなヘレン獲り－」
細川道久編『カナダの歴史を知るための50章』明石書店、300頁